

「稼働中の産業遺産を含む案件を世界遺産登録に向けた推薦を行う場合の取り扱い等」に関する要望書

平成24年4月17日

「九州・山口の近代化産業遺産群」
世界遺産登録推進協議会

会長	鹿児島県知事	伊藤 祐一郎
	福岡県知事	小川 洋
	佐賀県知事	古川 康道
	長崎県知事	中村 法道
	熊本県知事	蒲島 郁夫
	山口県知事	二井 関成也
	岩手県知事	達増 拓也
	静岡県知事	川勝 平太
	北九州市長	北橋 健道
	大牟田市長	古賀 道雄
	中間市長	松下 俊男
	佐賀市長	秀島 敏行
	長崎市長	田上 富久
	荒尾市長	前畑 淳治
	宇城市市長	篠崎 鐵男
	鹿児島市長	森 博幸
	下関市長	中尾 友昭
	萩市長	萩野 村興
	釜石市長	野田 武則
	伊豆の国市長	望月 良和

8県12市により構成される「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会は、我が国の産業革命に貢献をした九州・山口を中心とする重工業の産業遺産群を、将来、世界遺産として登録するべく積極的に活動を展開しているところであります。

こうした産業遺産群には、現在も民間企業による現役稼働の資産が含まれており、当協議会からの要望、及び平成23年4月8日に閣議決定された「規制・制度改革に係る方針」を踏まえ、政府の「産業遺産の世界遺産登録等に係る関係省庁連絡会議」（以下「関係省庁連絡会議」とする。）において、民間企業が参画しやすい新たな枠組みについて調整が進められております。

本件について、下記のとおり要望します。

記

1. 閣議決定の早期実施

関係省庁連絡会議で調整が進められている「稼働中の産業遺産を含む案件を世界遺産登録に向けた推薦を行う場合の取り扱い等」について、できる限り早期かつ詳細に、閣議決定を行うこと。

2. 体制整備の推進

「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産登録に向け、関係する協議会及び委員会等の早期立ち上げ等登録準備のための体制を整備すること。

3. 保全の財源に係る公的支援の推進

稼働中の産業遺産を含む案件を円滑に世界遺産へと登録するため、各関係省庁において、稼働中の産業遺産の保全の財源に係る公的支援の枠組みを整備すること。

4. 推薦書案作成等へのサポート

「九州・山口の近代化産業遺産群」は、関係省庁連絡会議で調整が進められている新たな枠組みを適用する初めてのケースとなることが想定されます。推薦書案の作成、関係者間の調整等について、内閣官房を中心に、関係省庁による積極的な支援を行うこと。

5. 世界遺産登録の早期実現

「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産登録を早期に実現すること。

平成24年4月17日

「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会

会長 鹿児島県知事 伊藤 祐一郎

